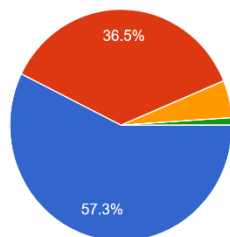


# 学校評価 保護者アンケート(2024.12月回答) 集約(グラフ)

# 日進小学校(2024年度)

①お子さんは楽しく学校に行っていると思う

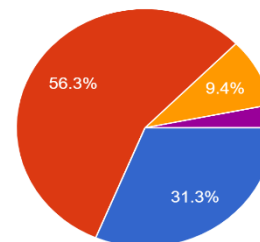
96件の回答



- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- 分からない

②お子さんは授業の内容を理解していると思う

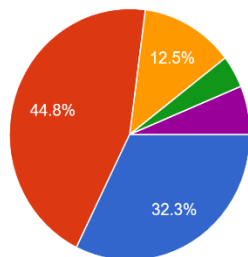
96件の回答



- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- 分からない

③お子さんは元気にあいさつをしていると思う

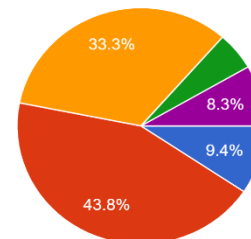
96件の回答



- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- 分からない

④お子さんは目標をもって学校生活を送っていると思う

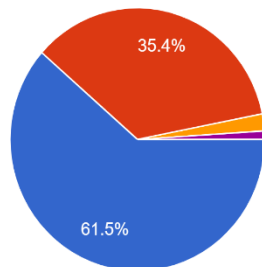
96件の回答



- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- 分からない

⑤お子さんは友達のことを大切にしていると思う

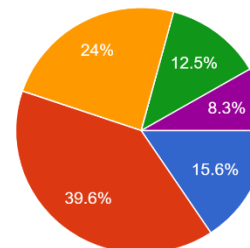
96件の回答



- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- 分からない

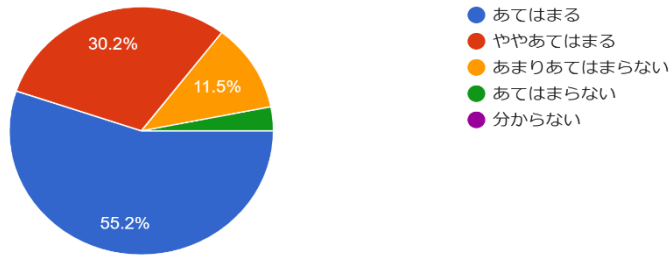
⑥お子さんは悩みや困りごとを教員に相談していると思う

96件の回答

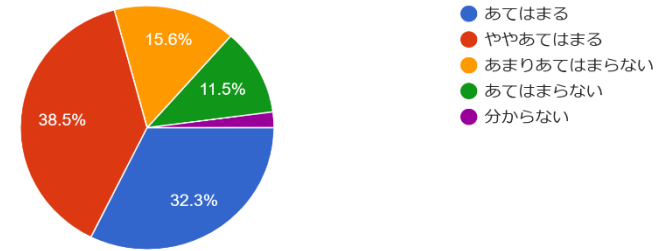


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- 分からない

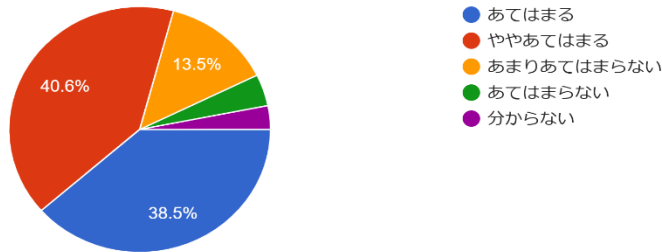
⑦お子さんは家で学校生活のことを話している  
96件の回答



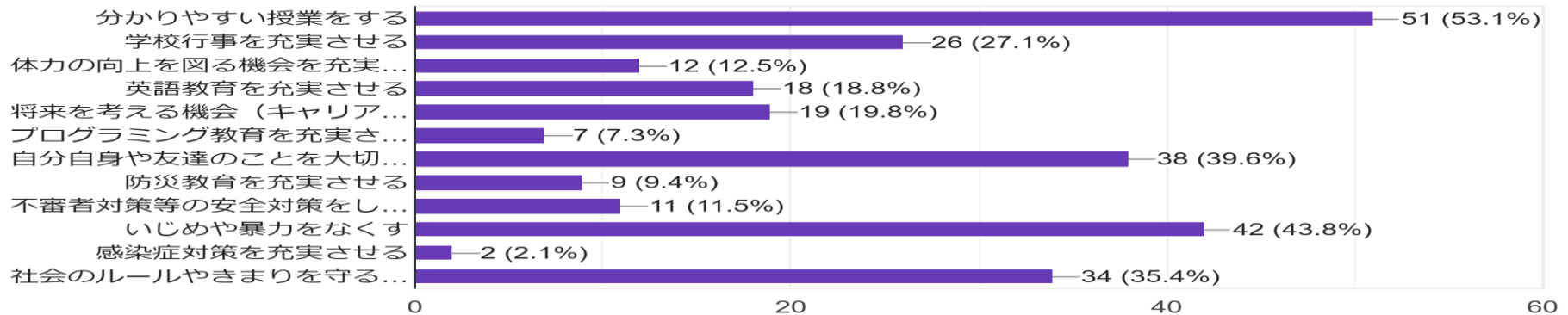
⑧お子さんに関する悩み事や困りごとを教員に相談しやすい  
96件の回答



⑨学校は家庭への連絡を大切にし学校の様子を知らせている  
96件の回答



⑩これから学校に力を入れてほしいことは何ですか（最高3つまで）  
96件の回答



11月下旬～12月中旬に実施した「保護者アンケート」では、同時期にとった各学年の「児童アンケート」と同じような項目について肯定的評価が高くなりました。そんな中でも、3(あまりあてはまらない)・4(あてはまらない)の評価もありますので、これまで以上に指導を充実させていきたいと思えます。

日進小学校だけでなく、桑名市の小中学校では教育委員会の指導の下、児童同士の「対話的な学習」「学び合い」を大切に、「めあて」と「ふりかえり」を大切にしながら、教育活動を行っています。その取り組みの成果から、「友達を大切に」「思いやりのある」「前向き」で「素直」な児童の姿に成長しつつあると言え、そのおかげで学校生活の安定につながっていると感じています。(学校が楽しいとの肯定的割合が児童 93%、保護者94%) しかし、お子さんの大事な成長時期である小学校低学年から中学年での「なかまとともに学び合う」ことや「体験活動」が十分でなかったこと(空白の 3 年間と言えます)でつけるべき力の習得が不十分だったことに対して、その力を「とりもどす」活動が見直されているのが、あらゆる学校教育関係者の間で言われています。「コロナ前にすべてを戻す」のではなく、どんな力をつけるのかを捉え直し、これまでの取り組みと、新しい取り組みをハイブリッドで考える時期に来ています。文科省の通知や三重県・桑名市教育委員会の指導をもとに、学校行事のあり方を検討し続けていきます。

年度当初に実施された全国学力・学習状況調査(6年生)やみえスタディチェック(4・5年生)では、分析結果や個人結果票をこれまでに配布させていただきましたが、その分析結果だけでなく、普段の状況からも、まだまだ「家庭学習の時間の少なさ」が課題と捉えており、その時間の「テレビ・ゲーム」「SNS」などへの時間が非常に多くを占めている実態があります。家庭での過ごし方を読書や自主学習に物理的に置き換える必要があり、そのためにも学校だけでなく家庭・保護者と同じ方向を向いて、社会総体として工夫をし、指導を繰り返していかなければなりません。家庭学習の充実のためにも、「一人一台タブレット」による「デジタルドリル」のさらなる日常的な活用も積極的に取り組んでいき、それだけではなく、プリント類などの紙媒体を使った活動とのハイブリッドな学習を模索していきたいと考えます。学校だけでなく保護者の方にもご協力いただき、ともに「学力向上」に取り組みたいです。

一方、「悩みや相談事への相談」は高学年になるほど、大人への相談よりも友だちへの相談が増えていると感じています。困りごとは保護者・教員だけでなく、誰でもいいので「相談しやすい大人」に支援を求めることを、学校でも児童に伝えています。子どもたちの元気な学校生活や健全な成長、将来の夢の実現に向かうために、学校だけでなく、家庭・地域とも一体となって連携しながら取り組んでいきたいと思えます。また、関係機関とも適切に連携し、同じ方向を向いて、児童の指導に当たっていききたいと感じています。

これまでもお知らせし、学校HPにもアップしている、「日進小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止や早期発見・早期解決のために、年3回のいじめアンケート、学校全体での人権学習と人権集会、桑名市人権フォーラムへの参加、道徳の授業、子どもたちの言動からの振り返り等々、機会を捉えて様々な取り組みを継続して行います。加えて「人権学習」の公開授業や、いじめ防止や仲間づくりの教育活動のあとにはその様子をおたよりで紹介するなどの取り組みも行っていきたいです。今後も引き続き取り組みの強化をしていきたいと考えます。

ここ数年は夏季期間の「猛暑・酷暑」などにより、学校行事を含めた年間計画を組み直す時期になっています。このことをプラスに捉え、すべてを以前のように戻すのではなく、「戻すもの」と「変えるもの」を学校運営協議会や教育委員会と相談しながら熟考し、学習や学校行事に取り組んでいます。できないこと・なくなったことを探すのではなく、「どんな方法ならより良いものとして取り組めるか」と前向きに検討していきたいと思えます。まだまだ心配はつきませんが、これまで大切にしてきたことに粘り強く取り組んでいきたいと思えます。

また、参加していただく学校行事の取り組みなど、児童の様子を直接見ていただくことにより、学校と保護者・地域がともに主体的につくりあげる(ともに参画する)学校(コミュニティスクール)を目指していきます。今後も引き続き、学校教育と子どもたちの健全育成に、ご理解とご協力をお願いします。

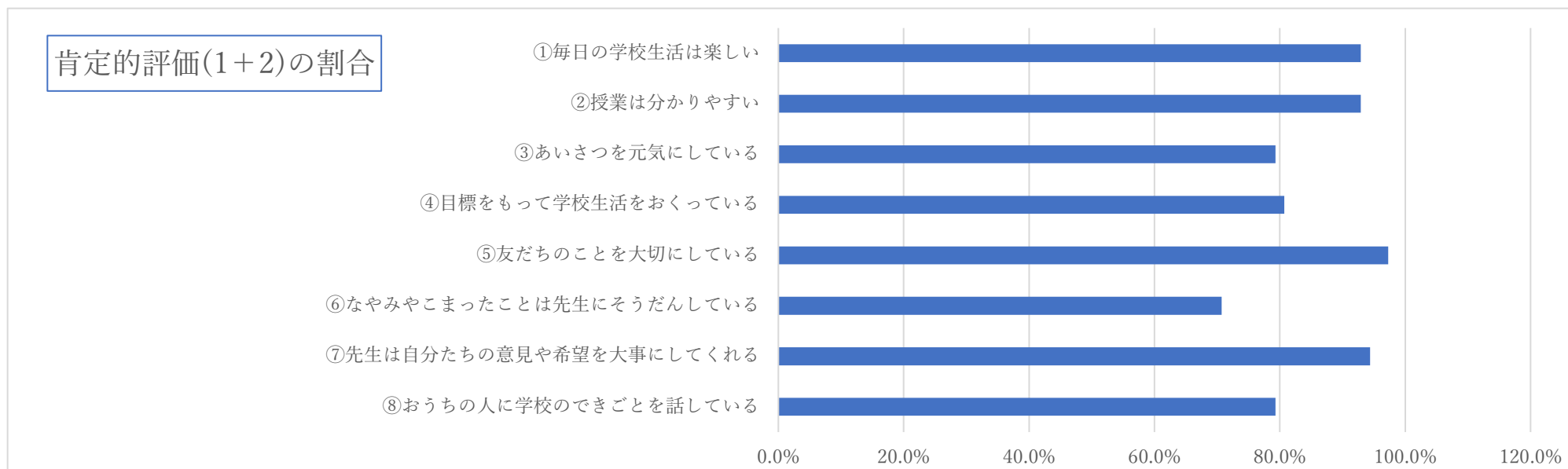
<個別意見>に関して、学校としてのおおまかな考えをお伝えします。(学校として検討できるものについては、今後検討を重ね、改善にいかしていきたいと思えます。)

◎宿題・タブレットに関して … 宿題の量や内容は、各学年に応じ、また個別対応ができる内容も検討します。さらに、発達段階にあわせ、自分で計画的に取り組む自主学習なども取り入れていきます。

◎学校施設改修 … 雨漏り・トイレの改修、エアコンの清掃など、施設の修繕・メンテナンスなどは、学校だけでなくPTAとともに要望しています。なかなか実施に至らないのが現状です。

◎学校行事の開催時期・ボリューム … 学校行事は、「学校教育活動」の一環として取り組んでいます。特別に「公開」するためだけでなく、普段の児童の取り組みや頑張りの成果を見ていただきたいです。

◎通学路の変更など … 万が一のときの「安全保険」として申請・登録してあります。特別な事情(雪や工事)以外は、保険が申請できなくなってしまう。最も安全な通学と思われる通学路となっています。



11月に実施した「児童アンケート」を集約・分析しました。肯定的評価(1 そう思う+2 ややそう思う)の割合は概ね高い傾向にあり、全体的に昨年度の結果よりも増加傾向になりました。(特に「③・あいさつを元気にする」…(+14ポイント)、「④・目標をもって学校生活を送っている」…(+10ポイント)) 子どもたちはよく頑張っていて、「①・毎日の学校生活は楽しい(93%)」「⑤・友達を大切にしている(97%)」など、友達との良い関係づくりなど良い傾向にあり、さらには昨年度より割合が増加しています。大変うれしく思います。「日進小の児童」の長所と感じる、なかまを大切に、ともに成長し合う、良い関係があらわれた結果と捉えています。学校・学年行事や「にこにこ日進大作戦」を代表とするような特別活動の取り組みの成果だと考えます。また、おうちの方々の学校教育へのご協力により、子どもたちの良い成長につながっていると感じています。ありがとうございます。

また、その他にも割合の増加した項目として、「②・授業がわかりやすい」(+6ポイントで92.9%)、「⑦・先生は自分たちの意見や希望を大事にしてくれる」(+2ポイントで94.5%)など、うれしい結果があり、教職員も引き続きがんばることにつながる結果が出ました。大変うれしく思います。

「困ったことは先生に相談する」は70%程度ではありますが、学年が進むにつれ、周りの大人だけでなく、友だちに相談する傾向にあることが言われているので、先生や家族だけでなく、信頼できる友だちと相談できることがよりよい成長につながると考えます。

全般的に、概ね肯定的評価が高い結果でしたが、少数であっても「学校が楽しい」に関して「4 そう思わない」や「3 あまりそう思わない」と回答した児童もいました。これらの児童に対しては、これからも担任や養護教諭からの聞き取りや教育相談を引き続き行っていきます。困っていることや辛いと思っていることがあれば、つながりの深い友だちだけでなく、周りの大人(家族や担任・養護教諭)、スクールハートパートナーさん、スクールカウンセラーなど伝えやすい人に伝えることを学級でも話しています。またあらゆる機会を通して、相談機関のご紹介もしていきます。私たち教職員も保護者・地域の方々とともに、さらなる児童の安定した生活と成長のために力を注いでいかなければならないと改めて感じています。

お子さんのことで「どうしたのかな」と感じる事があれば、まずは学校へ相談していただければと思います。